

みえ福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 三重銀総研

②事業者情報

名称：社会福祉伊賀市社会事業協会 友生保育園	種別：保育所
代表者氏名：松田 柄子（園長）	定員（利用人数）：90名
所在地：三重県伊賀市上友生 675	TEL：0595-21-4804

③総評

◇特に評価の高い点

- ・友生保育園は、昭和29年に事業を開始した保育園で、古くからある馴染みの保育園として地域の人々から親しまれています。
- ・当保育園は、緑と田園風景が広がる伊賀市友生地区に立地し、園の周辺には今では珍しいメダカやホタルが生息する久米川や伊賀牛を肥育する牛舎等があり、園外への散歩の際には豊かな自然と触れ合うことができる恵まれた保育環境にあります。
- ・友生地区住民自治協議会が実施する地域行事に積極的に参加し、地域住民との世代間交流を盛んに行う一方、地域住民からは園庭整備や園周辺の草刈りをボランティアで行ってもらうなど、地域とのかわりを大切にされた保育姿勢を感じ取ることができました。
- ・子どもたちは、地域住民の協力を得ながら、年間を通じて菜園活動に取り組み、収穫した野菜は給食の食材として取り入れています。四季折々の野菜作りを通して、子どもたちは自然や食への関心を高めるとともに、地域の方々に感謝し、地域を愛する心を培っています。
- ・事務室には絵本コーナーが設けられており、約700冊の絵本が揃っています。保育士による読み聞かせが行われている他、毎週金曜日には子どもたちが好きな絵本を選んで持ち帰る「絵本貸し出し」を行い、親子で絵本に親しんでもらう機会を設けています。

◇改善を求められる点

- ・保護者との連絡事項は連絡ノートや職員日誌を通じて職員間で共有されていますが、伝え忘れを不安視する意見が職員アンケートで見られました。今後は、必要な情報を関係者全員が漏れなく共有できるよう、連絡ノートの記録の仕方や伝達の仕組みについての改善が望まれます。
- ・毎日の連絡帳や送迎時対応などを通して、日々の出来事等の丁寧な連絡に感謝の気持ちを伝えてくれる保護者がいた一方で、子供たちの様子をもっと知りたいという保護者もいました。また、保護者の意向や要望を把握する機会として、定期的な意向調査等の積極的な取り組みは今後の課題といえます。保護者と一緒に子育てをしていくことの大切さは十分認識されており、掲示板の有効活用や個別懇談等、様々な仕組みを検討されていますので、その実現に期待します。
- ・当保育園は竹林に囲まれた環境にあるため、子どもたちが蚊に刺されるケースが少なくないようで、利用者アンケートにおいても同様の意見が寄せられています。様々な対策を実施・検討されていますので、その対応状況を保護者へフィードバックするなど、利用者の安全・安心を更に高める取り組みが望まれます。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

- ・評価検討することで自園の長所や課題について話し合うことができました。また、気づいた課題について改善できるように具体的な取り組みを職員間で確認しました。
- ・今後は、評価結果を真摯に受け止め、保護者の希望を把握し、更に充実した保育を実践していきたいと思えます。

⑤評価細目の第三者評価結果（別添）

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（59項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ b・c
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ b・c
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	
I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ b・c
I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a Ⓑ c

I-2 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ b・c
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ b・c
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ b・c
I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ b・c
I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ b・c

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ b・c
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	Ⓐ b・c
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	Ⓐ b・c
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	Ⓐ b・c

【評価機関コメント欄】

『評価対象Ⅰ：福祉サービスの基本方針と組織』項目

- 理念や基本方針は明文化されており、職員への行動規範となるように職員室への掲示の他、文書を配布するなど、周知に努めています。
- 事業計画は職員の意見を取り入れて組織的に作成されており、利用者に対しては園だよりなどで情報発信しています。
- 管理者である園長は、職員との積極的なコミュニケーションや面接、会議等への参加を通して、保育の質の向上と働きやすい職場環境の整備に努めています。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	Ⓐ b・c
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	Ⓐ b・c
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	Ⓐ b・c

Ⅱ-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ b・c
Ⅱ-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ b・c
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ b・c
Ⅱ-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ b・c
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ b・c
Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a Ⓐ c
Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ b・c
Ⅱ-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ b・c

Ⅱ-3 安全管理

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		
Ⅱ-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a Ⓐ c
Ⅱ-3-(1)-②	災害時における利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ b・c
Ⅱ-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a Ⓐ c

II-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	利用者地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ b・c
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a Ⓑ c
II-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ b・c
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ b・c
II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ b・c
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ b・c
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ b・c

【評価機関コメント欄】

『評価対象II：組織の運営管理』項目

- 事業経営をとりまく環境情報については、当保育園を運営する法人本部が主導して、行政担当課や各種団体から入手している他、当保育園が位置する友生地区における具体的な福祉・子育てニーズについては、友生地区住民自治協議会や民生児童委員との会議を通して把握に努めています。
- 職員の人材育成については、園内研修の実施に加え、職種別・階層別の外部研修にも積極的に派遣し、職員の能力向上につなげています。
- 幼児期に習得しておくことが望ましい基本的な動作（走る・投げる・跳ぶ・支えるなど）を身に付けることをねらいとして、平成27年8月から伊賀市が作成した「伊賀市版幼児の体力向上実践プログラムにんにんタイム」を積極的に活用し、年齢に合わせて毎日身体を動かす機会を持つようにしています。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	(a) b・c
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	(a) b・c
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a (b) c
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a (b) c
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a (b) c
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	(a) b・c

Ⅲ-2 サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	(a) b・c
Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	(a) b・c
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	(a) b・c
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	(a) b・c
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	(a) b・c
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	(a) b・c
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	(a) b・c

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

		第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	(a) b・c
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	(a) b・c
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	(a) b・c

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	(a) b・c
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	(a) b・c
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	(a) b・c

【評価機関コメント欄】

『評価対象Ⅲ：適切な福祉サービスの実施』項目

- 職員間の情報共有は、日常のコミュニケーションや職場会議等を通じて図られていますが、情報共有のための連絡ノートの記入方法等を見直すことで、情報共有の漏れを防ぐことができ、保護者とのきめ細かな対応に繋がると思われます。
- 当保育園の子どもたちは、基本的に近隣小学校に就学することから、職員の交流を含めた様々な連携が行われています。
- 利用者に対する情報発信については、毎月の園だよりやホームページなどで行われていますが、保護者が日々の子供たちの様子や状況を把握できるよう、情報発信の方法を工夫し、保護者とのコミュニケーションが更に活性化されることを期待します。
- 個別行事に関するものだけでなく、利用者（子ども・保護者）の様々な意向を吸収、把握するための仕組みづくりが今後の課題です。

評価対象Ⅳ 三重県独自基準

Ⅳ-1 地域項目

		第三者評価結果
Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。		
Ⅳ-1-①	子育て経験者との連携がとれている。	(a) b・c
Ⅳ-1-②	子供の安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	(a) b・c
Ⅳ-1-③	地域の福祉へ貢献している。	(a) b・c
Ⅳ-1-④	地域の環境保護に貢献している。	(a) b・c
Ⅳ-1-⑤	中高生等の職場体験の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	(a) b・c
Ⅳ-1-⑥	地域の子育て家庭への支援の取組を行っている。	(a) b・c

【評価機関コメント欄】

『評価対象Ⅳ：地域項目』

- 地域福祉への貢献では、友生地区住民自治協議会が開催する高齢者との交流イベント（いきいきサロン）などを通じて活発に交流を図っている他、未就園児家庭への子育て支援（たけのこひろば）を実施しています。
- 子どもたちの環境意識を高めることをねらいとした廃品回収を毎月実施しており、地域住民にも積極的に参加してもらっています。また、地域住民から提供を受けた牛乳パックや段ボールを子どもたちの制作活動等で有効利用しています。

改善計画書

施設名 友生保育園

(担当者 竹原 美樹)

(作成年月日 平成28年3月29日作成)

(施設として特に優れている点)	1	地域の保育園として地区行事に積極的に参加したり、地域の方と一緒に様々な体験をして交流を深めています。また地域住民から段ボールや牛乳パックの提供を受け、子どもたちの制作活動に活用したり、園周辺の草刈りをボランティアで行ってもらうなど、地域とのかかわりを大切にしています。						
	2	豊かな自然環境の下、園外散歩に出かけたり遊んだりして身体づくりに取り組んでいます。						
	3	年間を通して菜園活動に取り組み、成長や収穫の喜び、食への関心を高めています。						
	4	絵本の読み聞かせを通して、感性が豊かに育つようにしています。また、貸し出し絵本の充実を図り、親子で絵本に親しんでもらえるようにしている。						
	5	子育て家庭を対象にした「たけのこひろば」を開催し、親子の交流の場として保育園を解放しています。						
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
子ども関係	1	保護者との連携について	連絡ノートの記入方法を決めて、連絡事項を職員間でしっかりと共有できるようにする。	6か月	H.28.4	H28.9	利用している連絡ノートには、聞いた時間、確認した職員のサインなどをすることで、より職員間の連携を図る。	園長・主任
	2	情報発信について	園だより、クラスだより、ホームページに加え、掲示板などを利用して情報発信を工夫する。	6か月	H.28.4	H28.9	日々の子どもたちの様子が伝わるよう掲示板に活動内容を掲示するとともに、保護者とコミュニケーションをとりながら情報交換を密にする。	園長・主任
	3							
	4							
	5							
工夫された点	1	環境対策について	より一層の利用者の安全安心を確保する。	1年間	H28.4	H29.3	防蚊対策として竹林の伐採、みぞ掃除などをこまめに実施し、安全安心に向けた取組みを保護者に理解してもらえるように努める。	園長・主任
	2	意向や要望の把握	保護者の意向や要望の把握に努め、満足度を向上させる。	1年間	H28.4	H29.3	クラス懇談会を継続し、個別懇談会を実施できるように計画する。	園長・主任
	3							
	4							
	5							
予算化しない点	1							
	2							
	3							
	4							
	5							